

船舶事故調査報告書

平成22年10月21日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲也
 委員 根本 美奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成22年7月16日（金） 15時25分ごろ
発生場所	長崎県佐世保市北西方沖 ^{おきのむっせ} ノ六ツ瀬 ^{うしがくび} 牛ヶ首灯台から真方位338°10、200m付近 （概位 北緯33°14.8′ 東経129°32.5′）
事故調査の経過	平成22年7月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	ヨット ^{ワイルド} Wild ^{ボア} Boar、5.9トン 240-59096神戸、株式会社ヤマックス 9.60m (Lr) × 3.29m × 1.55m、FRP ディーゼル機関、26.70kW、平成17年12月
乗組員等に関する情報	船長 男性 63歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成18年3月28日 免許証交付日 平成18年3月28日 （平成23年3月27日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	船底外板に破口及びき裂、ラダー折損
事故の経過	本船は、船長とクルー2人が乗り組み、キール下端の喫水約2.0mで、佐世保市北西方沖を約7.5ノットの速力で自動操舵により北進中、平成22年7月16日15時25分ごろ、沖ノ六ツ瀬の干出岩に乗り揚げた。船長は、浸水がないことを確認後、機関を使用して離礁を試みたが離礁できず、国際VHF無線電話で救助要請を行い、クルー2人とともに海上保安部の巡視船に救助された。 本船は、救助中に浸水が始まって沈没し、翌日、引き揚げられて廃船処分された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風速 約4～5m/s、視程 約10km 海象：下げ潮中央期、潮高 約150cm、海面 平穏
その他の事項	船長は、長崎県平戸市平戸港までの航行予定水域の水路調査を行っていなかったため、予定針路上にある干出岩の存在を知らなかった。 船長は、GPSプロッターを見ながら操船していたが、水深が表示されない設定になっていた。船長及びクルー2人は、見張りを行っていたが、水面下にある干出岩に気付かなかった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、佐世保市北西方沖を自動操舵で北進中、船長が航行予定水域の水路調査を行っていなかったため、予定針路上にある干出岩の存在を知らずに航行し、同干出岩に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、佐世保市北西方沖を自動操舵で北進中、船長が航行予定水域の水路調査を行っていなかったため、予定針路上にある干出岩の存在を知らずに航行し、同干出岩に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	